

## 『防衛省・自衛隊の広報活動』

(2022年10月放送、2023年1月再放送)

MC : ○ リスナーの皆さん、こんにちは。「防衛問答近中でござる」。この番組は防衛省近畿中部防衛局の協力によりお届けしています。前回の放送では、地方協力確保室長から、「防衛省・自衛隊の防災訓練」について、事例を交じえながら、「自助」・「共助」・「公助」など、万が一、災害が発生した場合にとっても役に立つお話をお聞きしました。

○ この放送をお聞きになられた方の中にも、いつ起きるか分からない災害への備えを改めて見直された方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

○ 今回はA報道官にお越し頂きました。どんなお話を聞かせて下さるのか楽しみです。それでは、A報道官、よろしくお願いします。

A : ○ この放送をお聞きの皆さん、こんにちは。近畿中部防衛局報道官のAです。暫くの間、お付き合い下さいますようよろしくお願いします。

○ 本日は、「防衛省・自衛隊の広報活動」についてお話させていただきます。防衛省をはじめ、陸上、海上、航空の各自衛隊には、たくさんの広報担当者が配置されています。私も近畿中部防衛局の報道官として、その一翼を担っています。

MC : ○ 国民の皆さんに防衛省・自衛隊の活動を知って貰い、ご理解頂くためには広報活動はとっても大切で重要なお仕事だと思います。

A : ○ ありがとうございます。MCさんがおっしゃられるとおり、広報活動と防衛に対する国民の皆さんの認識と理解を深め、防衛施策に対する信頼と協力を得るため、日本の防衛の実態を正しく伝え、防衛に関する知識の普及及び宣伝に関する任務を遂行する活動となっています。

○ 防衛省・自衛隊の広報活動には、「自主的広報活動」と「協力的広報活動」の2つがあります。「自主的広報活動」とは、その名のとおり、防衛省・自衛隊自らが発信する形で行う広報活動です。

○ この番組でも毎年ご紹介している「防衛白書」などの刊行物やパンフレットなどの広報資料の制作、配布のほか、ホームページやSNSなどによる情報発信、さらには報道機関などを通じて自衛隊の活動内容などを正確に伝えることが広報活動の中心となります。

MC : ○ この番組でも防衛白書の内容を分かり易く解説して頂いており、毎年楽しみにされているリスナーの方もいらっしゃると思います。今年も11月と12月の2回に分けて、先ごろ刊行された令和4年版防衛白書について防衛補佐官のお話を聞かせて頂く予定です。

○ 激動するウクライナ情勢や日本の安全保障にとっても大きく影響する台湾をめぐる情勢などについてお聞きすることができるとと思います。リスナーの皆さんも楽しみにして下さい。

- A : ○ その他にも自衛隊創立記念日行事における駐屯地や基地の一般開放、装備品の展示、自衛隊音楽隊の演奏、艦艇や航空機の一般公開や体験搭乗、納涼祭・盆踊りや観桜会など各種イベントの開催などがあります。
- また、史料館・広報館の運営も自主的広報活動の一部で、陸上自衛隊広報センター「りっくんランド」（東京都練馬区）、海上自衛隊呉史料館「てつのかじら館」（広島県呉市）、航空自衛隊浜松広報館「エアーパーク」（静岡県浜松市）などの立派な施設があり、自衛隊の歴史的資料や装備品の展示だけでなく、家族で楽しめるテーマパークのような展示となっており人気を集めています。
- 入場料は無料でどなたでもご覧になれます。ショップでは自衛隊グッズなども販売していますので興味のある方はそれぞれの施設のホームページをご覧ください。
- MC : ○ とっても面白そうですね。「てつのかじら館」なんて名前を聞くだけで興味が湧いてきます。私も機会があれば行ってみたいと思います。
- A : ○ 近年ではホームページやSNSなどで行う広報にも力を入れています。防衛省ではYou Tubeにチャンネルを開設するなど、新たな広報手段としてネットの活用を推進しています。
- SNSに関しては、防衛省が公式ツイッターアカウントを、陸上自衛隊、海上自衛隊及び航空自衛隊がインスタグラムアカウントをそれぞれ開設しています。
- 一昨年の新型コロナウイルス感染症拡大以降、駐屯地や基地の見学、自衛隊音楽隊の演奏会、各種イベント活動などの中止や規模縮小が余儀なくされている中でインターネットを活用した広報活動を強化しています。
- MC : ○ 買い物ひとつでもわざわざ出かけなくても、自宅からインターネットで済ませてしまえるような便利な世の中です。過去のインターネットが普及していなかった時代に新型コロナウイルスのような感染症が拡大し、外出もままならない状況となっていたらどうなっていたのか考えるだけでもぞっとしますね。
- A : ○ 私もインターネット通販はよく利用していますが、いまや何ごとにもインターネットは欠かせないものとなっており、もはやインターネットのない日常生活は考えられないですね。
- 次に広報活動のもう一つの大きな柱である「協力的広報活動」のお話をさせて頂きます。
- MC : ○ よろしくお願ひします。
- A : ○ 「協力的広報活動」とは、マスメディアや地域の民間団体、他の官公庁など外部からの働きかけに協力する形で行う広報活動です。
- 映画やテレビのドラマ、バラエティー番組などに対する制作協力、取材対応、各種イベントへの協力などがこれに含まれます。
- まずはテレビのお話からさせて頂きませんが、MCさんは、自衛隊が舞台と

なったテレビドラマをご存じですか。

MC : ○ そうですね。最近では陸上自衛隊を舞台にした町田啓太さん主演の「テッパチ」が、以前なら航空自衛隊を舞台にした北川景子さん主演の「リコカツ」がありましたね。

A : ○ よくご存じですね。いずれの作品も防衛省・自衛隊が制作に協力しているんですよ。特に「テッパチ」は陸上自衛隊が全面的に協力した作品となっています。

○ ちなみに、「テッパチ」とは、自衛官にとって大切な身を守るためのヘルメットのことを言うのですが、陸上自衛隊を舞台にした青年たちの熱き思いを描いた作品で、未熟な若者たちが現実の厳しさ、夢や希望、友情や愛情、汗と涙など日々壁にぶつかり、悩みつつ奮闘しながらも成長していくという物語になっています。

○ 私も若い頃、自衛隊で過ごした経験があり、当時を懐かしく思い出しました。次に、少し古くなりますが、2013年に放送された「空飛ぶ広報室」はご存じでしょうか。

MC : ○ はい、新垣結衣さん、綾野剛さん、柴田恭兵さんなどの人気俳優が多数出演し、まだ、余り自衛隊を舞台にしたドラマがなかった時代にとっても興味を持って見てました。

A : ○ そうですね。「空飛ぶ広報室」は有川ひろさんの原作小説をもとにドラマ化されましたが、大好評を博した作品となりました。当時、私も市ヶ谷に勤務しており、毎回、放送されるのを楽しみに見ていました。

○ ドラマの制作に当たっては、ドラマの舞台となった航空幕僚監部広報室だけでなく、毎回各地の航空自衛隊の基地や装備品が登場し、航空機や隊員はもちろん、松島基地のブルーインパルスと本物のパイロットも出演するなど航空自衛隊が撮影に全面協力し、自衛隊の広報への取り組みが注目されるきっかけとなった作品となりました。

○ ちなみに真実は定かではありませんが、当時、実際に空幕広報室にいた自衛官がドラマで柴田恭兵さんが演じた広報室長などのキャストのモデルになったとも言われています。

MC : ○ ドラマを見ていてももの凄くリアルな映像が多かったのを覚えています、そのような背景があったんですね。

A : ○ もう一つ、「空飛ぶ広報室」に関連してドラマにも登場した航空自衛隊のブルーインパルスについてお話をさせて下さい。

MC : ○ お願いします。

A : ○ 「空飛ぶ広報室」で綾野剛さんが演じる空幕広報室員の空井大祐2等空尉は元戦闘機パイロットでブルーインパルスのパイロットとして松島基地への異動が決まっていたのですが、不慮の交通事故に巻き込まれ大怪我を負ったことからパイロットを断念し、空幕広報室勤務となりました。

- この空井2尉のあこがれでもあったブルーインパルスのお話をさせていただきます。もうすでにご承知の方も多いと思いますが、ブルーインパルスとは、航空自衛隊に所属する曲技飛行隊、いわゆるアクロバット飛行チームの愛称となっています。直訳すると「青い衝撃」ですね。
  - ブルーインパルスは航空自衛隊の存在を多くの人々に知って頂くために、航空自衛隊の航空祭や国民的な大きな行事などで、展示飛行と呼ばれる華麗なアクロバット飛行を披露する専門のチームです。
  - 昨年開催された「東京オリンピック2020」では、1964年の「東京オリンピック」と同様に、ブルーインパルスが東京上空にスモークで五輪のマークを描いたことは皆さんご存じだと思います。
  - ブルーインパルスの正式名称は、宮城県松島基地の第4航空団に所属する第11飛行隊で広報活動を主な任務とし、展示飛行を専門に行う部隊です。
  - ブルーインパルスは各地の大きなイベントにも参加していますが、ここ和歌山県では、2018年9月の「南紀白浜空港開設50周年イベント・空の日フェスタ」でも展示飛行を行っています。リスナーの皆さんの中にもご覧になられた方もいらっしゃるんじゃないでしょうか。
  - 近畿中部防衛局の管内では、今年8月7日に滋賀県高島市で開催された「自衛隊フェスタ50・70 in 滋賀高島」、9月19日に石川県小松市で3年ぶりに開催された「航空自衛隊小松基地航空祭」で華麗な展示飛行を披露しました。
- MC : ○ 新型コロナウイルス感染症の治療に従事する医療関係者を励まし、勇気づけるため、ブルーインパルスが病院などの医療機関上空を飛行したことも鮮明に覚えています。医療従事者のみならず、私たちも大いに勇気づけられました。
- A : ○ 次に映画のお話をさせていただきます。「ゴジラ」をはじめ特撮映画と自衛隊は切っても切れない密接な関係となっています。異色な作品としては、戦国時代に自衛隊がタイムスリップする「戦国自衛隊」などの作品もありました。
- しかし何と言っても自衛隊が撮影に全面協力した作品として2016年に公開された「シン・ゴジラ」が有名ではないでしょうか。
  - 映画に登場する装備なども含め、自衛隊が全面協力で撮影に臨み、陸上自衛隊の10式戦車、海上自衛隊の護衛艦いずも、航空自衛隊のF-2戦闘機などの主要装備のほかに、当時まだ配備されていなかった最新鋭の陸上自衛隊の16式機動戦闘車など陸・海・空自衛隊の現役装備品が数々登場し、リアリティー溢れた作品となっており、ご覧になられた方も多いのではないのでしょうか。
- MC : ○ そうですね。私も見ましたがゴジラと戦う自衛隊の姿にもの凄く迫力がありました。

- A : ○ 今年公開された「シン・ウルトラマン」も防衛省・自衛隊の協力のもと、数多くの装備品や本物の自衛官が登場しているんですよ。
- 私も公開されるのと同時に映画館に観に行きました。山本耕史さん演じる特命全権大使のメフィラス星人の名刺を貰いました。これは映画を観た人にしか分からないと思いますが。（笑）
- MC : ○ 本当に特撮映画と自衛隊は切っても切れない関係ですね。日本が世界に誇る特殊撮影の技術ですが、やはり本物の迫力に勝るものはないですね。
- A : ○ ドラマ、映画以外にも、最近はバラエティー番組に自衛隊が登場する機会も増えており、「自衛隊の裏側ぜ〜んぶ見せちゃいます！」のようなタレントが自衛隊の部隊に潜入して、体を張ったリアルなレポート番組も人気を博しています。
- MC : ○ 以前は警察24時のような番組が多かったですが、最近は自衛隊を取り扱った番組が増えていきますね。
- A : ○ 映画やテレビへの「協力的広報活動」は誰もが知っているような派手な広報活動ですが、それ以外にも地域の祭りやイベント活動への参加、駐屯地や基地の一般開放などの地域に密着した地道な広報活動が各都道府県の地方協力本部や各駐屯地などの広報担当によって行われています。
- もちろん近畿中部防衛局もイベントへの参加など地道な広報活動を行っていますが、FMマザーシップのこの番組も当局とリスナーの皆さんとを結ぶ大切な広報活動の場となっていることに感謝しています。
- MC : ○ こちらこそ防衛省・自衛隊の活動を国民の皆さんにご理解頂く一助となっていれば凄くやり甲斐があります。
- それでは、ここで少し休憩で音楽をお聞き頂きたいと思います。先ほども制作協力のお話がありましたテレビドラマ「リコカツ」。主人公を演じた北川景子さんが、永山瑛太さん演じる航空自衛隊救難隊の自衛官と運命的な出会いを経て結婚するも、早い段階でそりが合わず離婚を決意。離婚に向けた水面下の活動、リコカツを描くラブストーリーとして話題となりました。
- その主題歌となった米津玄師さんの「Pale Blue」をお聞き下さい。

♪♪～「Pale Blue」～♪♪

- MC : ○ 「防衛問答近中でござる」、この番組は防衛省近畿中部防衛局の協力によりお届けしています。それでは、引き続き、A報道官よろしくお願ひします。
- A : ○ はい。ここからは自衛隊のイベントのお話をしたいと思います。一昨年以降、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により各種イベントの中止や規模縮小を余儀なくされていましたが、各地で徐々に活動が再開されつつあります。

○ 今年になってからは、新宮市で6月に「海上自衛隊呉音楽隊ふれあいコンサート」、8月に「自衛隊サマーフェスタ2022 in 新宮港」、田辺市で8月に「航空自衛隊串本分屯基地創立65周年記念コンサート」などが新型コロナウイルス感染症対策に細心の注意を払いながら開催されました。

MC : ○ 一連のまん延防止重点措置等の解除後、専門家会議からの新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」の実践への提言などを踏まえ、各地で経済活動などが徐々に再開されつつありますが、まだまだ手さぐりの試運転のような状況であることは否めないですね。一日も早くコロナ前の状態に戻って欲しいものです。

A : ○ 私もマスクをはずせる日が待ち遠しいです。新型コロナウイルス感染症拡大前は、各駐屯地や基地の一般開放や納涼祭・盆踊り、観桜会などのイベントが開催され多くの方々がお越し下さり地域との交流や自衛隊を知って頂くよい機会となっていました。早く新型コロナウイルス感染症の混乱が終息し、また、このような機会が得られることを願ってやみません。

○ 現在、各地で徐々にイベント活動が再開されつつあります。地域に密着したイベント情報は、自衛隊和歌山地方協力本部、陸上自衛隊和歌山駐屯地、航空自衛隊串本分屯基地のホームページからもご覧になれます。

○ この番組でも自衛隊音楽隊の演奏や自衛隊の歌姫と呼ばれる陸上自衛官の鶴真衣さんや海上自衛官の三宅由佳莉さんの歌唱をお聞き頂いたことがありますが、ここからは貴重な広報ツールとなっている自衛隊音楽隊のお話をさせていただきます。

MC : ○ 自衛隊音楽隊の演奏は、この番組をお聞きの皆さんにもお馴染みの聴く者を魅了する見事な演奏だと思います。リスナーでファンの方も多数いらっしゃると思います。

A : ○ 自衛隊には諸外国の軍楽隊に相当する音楽隊が陸・海・空それぞれの自衛隊に編成されています。今年8月に新宮市、田辺市で自衛隊音楽隊によるコンサートが開催されましたが、音楽隊のコンサートは各地でも人気のイベントとなっています。

○ 特に毎年11月に日本武道館で開催される自衛隊音楽まつりは自衛隊音楽隊の演奏のみならず、儀仗隊によるファンシードリルの演技、全国の駐屯地、基地の和太鼓チームの合奏、在日米軍音楽隊の演奏など防衛省・自衛隊を代表する一大イベントとなっています。

MC : ○ 一般の人でも観ることができるんですか。

A : ○ はい。無料で観覧することができます。ただし、非常に人気があるため、毎年、競争倍率の高いイベントとなっていますが、応募要領は防衛省のホームページからご覧になれます。

○ それでは、ここでは陸上自衛隊の音楽隊を例に自衛隊の音楽隊をご紹介します。陸上自衛隊には普通科、機甲科、特科など16の職種がありますが、音楽隊は音楽科職種として「隊員の士気高揚のための演奏」、「儀

式、式典における演奏」、「広報活動に関する演奏」を任務の一つとしています。

- 音楽隊員の身分は他の自衛官と同じく特別職国家公務員であり、音楽を仕事として働きたい、また、音楽を通して人の役に立ちたいという方が多く志願されています。この放送をお聞き下さっている皆さんの中で音楽隊員に興味を持たれた方は陸上自衛隊中央音楽隊のホームページをご覧ください。

MC : ○ 演奏活動も自衛隊の重要な任務になっているんですね。具体的にはどのような活動をされているんですか。

A : ○ 陸上自衛隊音楽隊は、防衛大臣直轄の中央音楽隊をはじめ、北部、東北、東部、中部、西部の各方面の音楽隊のほかに、師団・旅団直轄の15個の音楽隊があります。

- これらの音楽隊に属する約950名の音楽隊員が日本全国で活躍していますが、防衛大臣直轄部隊である中央音楽隊はその中で最も規模が大きく、諸外国の要人が来日した際に行う特別儀仗を日本の音楽隊で唯一行っています。また、その他にも陸上自衛隊のための演奏や要請による演奏、音楽科隊員に対する教育訓練なども行っています。

- 陸・海・空自衛隊の音楽隊は、オリンピックをはじめとする国家的行事にも数多く参加していますが、その他にも民間の要請による演奏には、大相撲千秋楽における国歌吹奏や競馬のGIレースの出走ファンファーレの演奏などがあります。リスナーの皆さんも、多分、一度は聞かれたことがあるんじゃないでしょうか。

MC : ○ はい、大相撲での国歌吹奏や競馬のGIファンファーレで自衛隊の音楽隊が紹介されているのをテレビで見たことがあります。

A : ○ 自衛隊音楽隊のコンサートなどに関する身近なイベント情報は、自衛隊和歌山地方協力本部や陸上自衛隊中部方面隊のホームページのイベント情報からご覧になれます。

- 手前味噌になりますが、近畿中部防衛局のホームページにもリンク先として全国の地方防衛局や管内の地方協力本部、主要自衛隊のホームページに簡単にアクセスすることができます。イベント情報をはじめ、お役に立つ情報を盛り沢山に発信していますので、是非、一度、近畿中部防衛局のホームページをご覧ください。

MC : ○ 近畿中部防衛局のホームページ、このFMマザーシップの過去の放送を聞くこともできます。是非、皆さんも一度アクセスしてみてください。

A : ○ 近畿中部防衛局のホームページ、よろしくお願ひします。

MC : ○ これもA報道官の立派な広報活動ですね。(笑)

A : ○ ここからは、最後になりますが、防衛省市ヶ谷地区見学(市ヶ谷台ツアー)についてご紹介させていただきます。防衛省が所在する東京都新宿区市ヶ谷地区内に所在する庁舎や極東国際軍事裁判(東京裁判)の法廷となった大講堂などを移設・復元した市ヶ谷記念館を午前と午後一日2回ご案内しています。

- 午後のコースでは有料（700円）となりますが大本營地下壕跡もご覧になることができます。市ヶ谷台ツアーは事前予約により、月曜日から金曜日までの午前・午後各1回の定時見学となります。
  - 予約の受付は見学希望日の2ヵ月前からになります。興味を持たれた方はこちらの情報も防衛省のホームページから検索できます。上京される機会がありましたら、是非、ホームページを覗いて見て下さい。
  - 本日は、「防衛省・自衛隊の広報活動」について「自主的広報活動」と「協力的広報活動」の両面からお話させて頂きました。つたない話になりお聞き苦しかったことと思いますが、最後までお付き合い下さいましてありがとうございました。
  - これからも皆さんにより多く、防衛省・自衛隊について知って頂けるよう情報発信に努めて参りたいと思います。引き続き、よろしくお願い致します。
- MC：○ A報道官ありがとうございました。この放送をお聞きの皆さん、もっともって防衛省・自衛隊の活動をお知りになりたい時は、この放送をお聞きになられるとともに、是非、近畿中部防衛局のホームページにアクセスしてみてください。
- 次回の放送は、防衛補佐官による令和4年版防衛白書の解説をお送りする予定です。
  - それでは、最後に陸上自衛隊の歌姫鷓真衣さんの歌声を聞きながらお別れしたいと思います。今回も最後までお付き合い下さいましてありがとうございました。

♪♪ ～ 曲 ～ ♪♪

(完)